

複雑な形状のシャフトが研磨できる加工技術!!

IRF-1000 開発の狙い

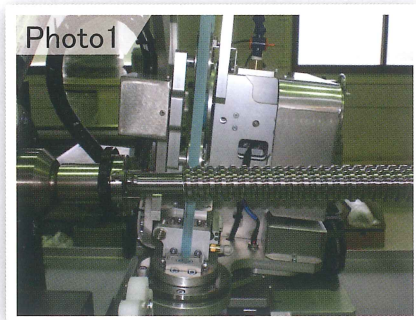
従来のフィルム研磨工法をあらゆる角度から駆使し、円筒物の外周部だけでなく、ワークの輪郭に最適角度でコンタクトローラーを押し当てる事が可能な『ワーク輪郭部追従型』フィルム研磨工法を開発しました

主な研磨部分

- ◆ 異形シャフト
- ◆ テーパー部 (シャフト)
- ◆ ボールねじ (リード内)
- ◆ Oリング溝面
- ◆ 軸物部品のコーナーR面
- ◆ 軸物部品の側面部

特長

1. 研磨ヘッドをワークの研磨面に最適な角度で押し当てる事が可能 (Photo1、Photo2 参照)
2. 2種類のコンタクトローラーをローテーションすることで幅広い研磨加工が可能 (Photo3)
3. 最大90°まで研磨ヘッドを振ることが出来るため際まで研磨が可能



IRF-1000

販売店

株式会社 **コバックス** ファインシステム課

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-29-9

損保ジャパン 南池袋ビル10階

TEL: 03-5960-1626 FAX: 03-5960-1627

